



たまがわ

広報

村のようす
(45.1月1日現在)

世帯数	1,432戸
人口	7,473人
男	3,605人
女	3,868人
面積	46.62km ²

編集と発行
福島県石川郡玉川村役場
大越力夫
でんわ 川辺 1・39・124

印刷所
須賀川市加治町69
有限会社 円谷印刷



立

春

木代子

山と川と平野の上を
音立てて風の吹き荒れる日はあつても
ほんの少しづつ
陽ざしがやわらいて来たのを
敏感にうけとめるのは
言葉のないものたちだ
ほのかにも雑木林は色めき
巻毛のカナリヤは日がな一日唄う
そんな日はきつと
人々の心にも
やさしい愛が芽生えるものだ

二月の行事予定表

日	行事
一月一日	開拓管農調整事業戸別調査
一月二日	月例監査
一月六日	総務委員会 経済土木委員会 文教厚生委員会 妊婦検診
一月八日	仔牛生産検査
一月九日	固定資産評価審査委員会 仔牛生産検査
一月十日	事業税申告 (全村)
一月十一日	住民税申告 (小高)
一月十二日	(小高、蒜生)
一月十三日	(中)
一月十四日	(川辺)
一月十五日	(川辺)
一月十六日	(川辺)
一月十七日	(川崎)
一月十八日	(岩法寺)
一月十九日	稲作調整協議会
一月二十日	公民館
一月二十一日	教育委員会
一月二十二日	教育委員会
一月二十三日	村民芸能大会
一月二十四日	村民碁・将棋大会



もうすぐ一年生

新入学児童は一三四名

昭和四五年度入学児童は次のお子様達です。学校では入学日に皆さんの元気な姿を心からおまちしております。

川辺小学校 (14名)

児童氏名 保護者名

野崎 豊 文 吉

矢部 美紀 子 康 美

矢部 規子 重 功

大和田 順子 義 一

佐藤 悦子 庄 蔵

吉田 勉 行 信

熊田 知賀子 正 信

円谷 信明 昌 男

円谷 昌彦 昌 康

鈴木 和浩 喜代 吉

大竹 春江 忠 一

矢部 修 欣 一

玉川第一小学校 (56名)

曲山 初子 寛 一

曲山 永男 義 三郎

曲山 安夫 英 光

久保 雅一 喜 衛

溝井 善徳 徳 雄

矢吹 初子 源 一郎

遠藤 あけみ 正 昇 美

須釜小学校 (59名)

児童氏名 保護者名

小 林 幸子 喜 三

上 野 久子 忠 好

仁 井 田 栄一 正 弘

小 林 智子 茂 弘

三 吉 智子 勝 己

鈴 木 吉孝 吉 典

鈴 木 ひろみ 紘 一

上 野 寛司 寛 一

岡 部 敬文 勝 良

小 林 和寿 仙 治

小 林 美千代 松 男

車 田 武実 武 夫

小 林 智和 長 重

佐 藤 康子 庄 平

須 釜 小 学 校

須 釜 小 学 校

須 釜 小 学 校

須 釜 小 学 校

須 釜 小 学 校

須 釜 小 学 校

須 釜 小 学 校

社会福祉法人化実施

協議会の

昭和四十四年四月二十四日社会福祉法人玉川村社会福祉協議会設立認可の申請を厚生大臣に申請中とのところ昭和四十五年一月七日付

で認可され、昭和四十五年二月四日法人設立登記も終了したのでお知らせいたします。

の団体として民間の立場に立って地域福祉水準の向上を念願とし、住民が主体となり、社会福祉、保健衛生、その他生活の改善向上に努め、地域福祉の増進に寄与したいと存じて居ります。勿論これが目途するところ極めて大きく、その内容広範、複雑、多岐に亘り容易ならざるものがありますが、地域住民皆様の高き理解と協力により、前進を見たいと存じますので格段の御配慮を得られるようお願い致します。

昭和四五年二月 社会福祉法人玉川村社会福祉協議会

近年きり材の需用増

大に鑑み、この資源増の植栽地に対する造林補助適用を昭和四十五年より実施することとなりましたので、補助基準、取扱等についてお知らせ致します。

きり植栽地の造林補助適用について

1 造林補助の適用

(1)きりの植栽について は、人口造林事業として造林補助の適用を行なってさしつかえない。この場合人口造林事業とは「木材の生産に供する森林の造成」を内容とする事業である旨規定されているので、この要件を満たすものであることが必要である。

積一、m本の場合植栽本数二〇〇本haなお苗木については品種系統の明確なアイズキリを対象とする。

(2)したがって造林補助の対象とする事業の規模は一施行地一〇アール以上のものとする。

(3)また農地植栽の場合には、通常の林業用樹種の農地植栽と同様に、農地法に基づ

(4)つぎに補助対象となる経費は地拵え、苗木、仮植、苗木運搬、植付けに限られており、肥料代、施肥代は含まれない。

なお詳細は事業課へおたずねください。

し尿汲取り料金

四月一日から改正

し尿汲取り料金は現在十八リットル二百六十円ですが、四月一日から三百四十円に値上げされることになりました。

が、し尿処理事業運営のためどうしても止むを得ないという結論となり充分審議の結果前記のとおり改正することになりました。

石川地方町村衛生処理組合の議会が一月十九日石川町役場で開催され、諸物価の値上りしている現在値上げすることは好ましくない

先にはチラシや、広報でお知らせやお願いをしておりますが、この事業が円滑に運営されるように次のことを守っていただくようお願いいたします。

盛況だった村民芸能大会

玉川村公民館主催の第六回村民芸能大会は二月八日午前十時より泉中学校屋体で、うた賑やかな踊り風景

と踊りに村内より一七〇名が出演して盛大に開かれ審査の結果次のとおり入賞した。



第六回村民芸能大会

- 一位 八木節 小高車田美智子外
- 二位 糺づり踊り 中 高林ナイ 外
- 三位 たんと節 小高溝井千代子外

唄については、昔からこの地方の生活の中で唄い伝えられてきた唄を保存しようとのねらいから審査はしなかったが、中村草刈節高林万太郎さん、川辺餅つき唄須藤利次さん等が出演して昔の生活の一面をしのばせ、仲々好評だった。

先にはチラシや、広報でお知らせやお願いをしておりますが、この事業が円滑に運営されるように次のことを守っていただくようお願いいたします。

1 ゴミ収集について

玉川村のゴミ収集日は毎週水曜日になっておりますが、村として毎月の第一、二、四水曜日は川辺、蒜生、小高、中、南須釜、第三水曜日は岩法寺、竜崎吉、北須釜、山小屋、四辻を運行し収集車の停車場所を県道筋に定めて（広報たまがわ、四十四年六月号参照）おります。

2 し尿汲取りについて

し尿汲取りについては施設の処理能力、車や従業員の制約もあって大変ご迷惑をかけているのですが、年末、お盆などを除いては、それ程混雑もしないよう処理能力に合った車の運行をし、止むを得ない場合は薬品投入

所得税、住民税等の申告は三月十六日まで

所得税の確定申告と個人事業税、住民税の申告並に贈与税の申告はいずれも三月十六日までに済ませてください。

所得税、住民税等の申告は三月十六日まで

所得税の確定申告と個人事業税、住民税の申告並に贈与税の申告はいずれも三月十六日までに済ませてください。

所得税、住民税等の申告は三月十六日まで

所得税の確定申告と個人事業税、住民税の申告並に贈与税の申告はいずれも三月十六日までに済ませてください。

ちます。所得税について、昭和四十五年分からは青色申告をしようとする人は、三月十六日までに「青色申告の承認申請書」を税務署に提出することになって

ご協力に感謝します

赤い羽根と歳末助け合い募金

昭和四十四年十月一日から十二月三十一日までを期間として実施した共同募金、歳末助け合い運動については村民の深い理解と御協力により次の様な良い成績を納めることができました。これ偏りに村民皆様の高い社会的連帯感の現われ、深く敬意を表します。

又、本運動に対し積極的に御尽力下された社協協力員その他の方々に対し厚く御礼申し上げます。

- 一、共同募金 募金総額 二五二、七〇〇円
- 目標額 一三三、一〇〇円
- 差引超過額 一九、六〇〇円
- 右募金総額は県共募に全額送金、B募金として一〇九、六〇〇円が当村に配分される予定で、これは社会福祉協議会の共同募金事業により地域福祉事業に

皆さんの健康を守る

保険税の納入にご協力ください

保険税の納入については納税者各位のご協力により徴収率が年々上昇していることについて感謝申し上げる次第です。

保険税は国保事業に要する費用に充てるために課される目的税であります。国保事業の保険給付において療養費が前年度より二〇%以上と大きく伸びており、又今冬に入ってから「かぜ」の大流行と二月一日からの医療

費平均九・七四%（ただし七月までは八・七%）の値上げが実施されたのに伴ない医療費は今後更に伸びることが予測され、このため四十四年度の国保財政は非常に容易でない現況にありますので納税者の皆さんこの点を理解下され現年度及び滞納繰越分未だ納入されていない納税者はぜひ三月末までに納入方ご協力をお願い申し上げます。



先ず健康、力ゼなどひかぬように

在宅生活困窮者へ配分 三三、四〇〇円
次年度繰越金 一三、〇二五円
合計七八、八二五円
右配分金は民生委員が訪問見舞交付し、次年度へ繰越分は翌年募金目標設定の時、所要見込額からこれを差引いて募金目標とする事になって居ります。

昭和四十五年二月 福島県共同募金会 玉川村分会

交通事故防止に

つとめよう

交通安全、それは全市町村民の悲願であります。そして全市町村関係機関、団体あげて交通事故防止を念じて町村総ぐるみで運動を推進してきました。

しかしながら、このような郡民あげての努力にもかかわらず管内の交通事故は激増の一途をたどり、昭和四十四年は発生件数三三三件、死者において八名、負傷者において二九六名と、これまた前年をはるかに超えて史上最高の悲しい記録を更新するに至ったことは、まことに残念なことです。このまゝの状態が続くならば、本年は事

故の発生件数も死傷者も、昨年をこえ犠牲者がふえることは間違いないものと予測されます。石川警察署としては、この冷厳な現実を直視し事故の原因を分析検討し「交通事故防止」を本年度の重点目標に定め総力を結集し交通事故の増勢をくい止めることに努力しております。

しかしながら限られた警察の力のみでは、洪水のような車の波とそれによって引き起こされる交通事故を阻止することは到底できません。それで、運転する人、雇主、歩く人、遊ぶ子どもとその保護

もう一度心にならせクラクシヨ

雑詠 溝井 一郎

いつの代に流れし河かいつの代に果てなん河が淀みて立つ
 青みたる芝生の上に寝ころべば地球は吾の体温うばう
 あるときは動物の如き感情も静めて人間の境地にかへる
 電燈にいま飛び来るはたそりを髪長々と鳴さすましたり
 庭鳥が朝の目ざめに鳴きやます起くるに早き戸の面の寒さ

閑根 栞 泉

読み初や師の書ひらくをしきたりに忙しさの妻や夜更けて賀状書く土地風の煮物の味や小正月奥宮の雪敷く礎を踏みなやむ風いてて草の穂祭の庭に飛ぶ町の灯も凍て白衣の行者ゆく山藤の実のはせて飛ぶ石切場みちのくの神もぐこともなく凍る

お誕生おめでとう

お誕生おめでとう (二月分の出生届書から)

川 部 落	矢部 弘子	世帯主名 統柄 辰男 孫
小 高 邊	矢部 伸夫	新 辰男 孫
岩 法 寺	須谷 正子	亀 松
南 須 釜	塩沢 福一	栄 助
吉 須 釜	関根 博幸	英 治
有 賀 口	滝口 ひとみ	ス エ
近 内 正 文	近内 正勝	ス エ
大 和 田 裕 美	大和田 裕美	一 正 雄
四 辻 新 田	渡辺 由幸	由 一 孫 長男

一本の道を歩いていると水のようなつめたい風が頬をなでる。膚が切られるようだ。風雪と云ふそれが人生の訓練か。厳肅な父の怒りにも似て時が立つにつれてポカポカと陽が射して来て暖かさが甦る。そしてまたやさしい母のごとく身をさすいてくれる山あれば川あり。高きところあれば低きもあり。風雪と暖かさと身に浴び一本の道を歩いている。その道は人生にも通ずる一本の道だ。

川 部 落	死亡者氏名	世帯主名	統柄
草 野 倉 松	曲 山 三 郎	武 寿 助 父	泰 助 父
丹 内 一 郎	真 弓 信 典	武 寿 助 父	武 寿 助 父
高 林 信 典	小 林 信 典	松 男 父	松 男 父
岡 部 仁 一	岡 部 仁 一	岡 部 仁 一	岡 部 仁 一
仁 井 田 治	仁 井 田 治	仁 井 田 治	仁 井 田 治
佐 藤 光 治	佐 藤 光 治	佐 藤 光 治	佐 藤 光 治
大 野 直 義	大 野 直 義	大 野 直 義	大 野 直 義
石 森 清 之 助	石 森 清 之 助	石 森 清 之 助	石 森 清 之 助

ご逝去お悔み申し上げます

(二月分の死亡届書から)

糖 尿 病 と い え ば、老 人 病 と 思 わ れ が ち で す。網 膜 炎 な ど の 眼 病、腎 炎、妊 娠 中 毒 症 な ど を 十 代 と 若 い 人 の 糖 尿 病 が ぶ え て い ま す。

糖 尿 病 は、か っ た 人 は、の ど が か わ く 体 重 が 減 る。し っ し ん が で き る。だ る い お 手 洗 い が 近 い、お 手 洗 い が ぐ さ い、な ど の 病 状 を 訴 え て い ま す。

水 洗 便 所 の 少 ない 日 本 で は、く み と 尿 意 が 頻 りに 発 見 し た と い う よ う な 例 が 全 体 の 二 〇 パー セ ン ト ほど に の ほ っ て い ま す。

糖 尿 病 は、動

糖尿病に御注意

糖 尿 病 と い え ば、老 人 病 と 思 わ れ が ち で す。網 膜 炎 な ど の 眼 病、腎 炎、妊 娠 中 毒 症 な ど を 十 代 と 若 い 人 の 糖 尿 病 が ぶ え て い ま す。

糖 尿 病 は、か っ た 人 は、の ど が か わ く 体 重 が 減 る。し っ し ん が で き る。だ る い お 手 洗 い が 近 い、お 手 洗 い が ぐ さ い、な ど の 病 状 を 訴 え て い ま す。

水 洗 便 所 の 少 ない 日 本 で は、く み と 尿 意 が 頻 りに 発 見 し た と い う よ う な 例 が 全 体 の 二 〇 パー セ ン ト ほど に の ほ っ て い ま す。

糖 尿 病 は、動

先月の日誌より

29日	村内校長会
26日	青年学級
23日	成人式
15日	教育委員会
31日	公民館
29日	タバコ協議会
28日	月例監査
19日	保健婦補助員会
16日	村議会全員協議会
12日	選挙管理委員会
6日	消防出初式
5日	仕事始め

編集後記

◎今年も多勢の若人が大人の仲間入りをしました。皆さん自分の行動に自信と責任をもって立派な人生を歩んでください。

◎立春も過ぎ一日と暖かくなります。カゼが流行していますのでカゼにかからないよう十分に注意して農作業に励んでください。

◎村内でおきたニュース、俳句、詩、広報についての意見等どんなことでも結構ですので広報係までお知らせ下さい。